

【法人情報】

(令和6年2月1日現在)

法人名	社会福祉法人なないろ会	法人設立	平成17年1月4日
代表者	理事長 三須亜由美	連絡先	048-882-1400
法人所在地	埼玉県さいたま市南区内容6-7-10-4	メール	nanairo-jihatu@outlook.com
法人理念	家庭と保育園が安定した関係を構築し、豊かな人間性を持った子供の育成を図る	HP	https://nanairokai.or.jp/
		代表者より一言	「心身共に元気な子ども」「思いやりのある子ども」「自分で考えて行動できる子ども」「意欲を持って生活できる子ども」。子どもの最善の利益を尊重しながら、心やからだも健やかに保育園生活において遊びや生活する中でたくさんの学びを経験してほしいとの思いの保育目標となっております。



【運営施設・事業所等】

施設・事業所名	提供サービス	所在地
児童発達支援なないろ	児童発達支援	埼玉県さいたま市南区大谷口717
児童発達支援なないろ	保育所等訪問支援	埼玉県さいたま市南区大谷口717

【給与・勤務条件】

給与	【正職員】 月給 222,500円 ~ (資格・経験の有無によって異なる)	賞与	有	退職金制度	有
福利厚生	社会保険完備・交通費支給・扶養控除内考慮・研修制度あり	休日・休暇等	土曜、日曜、祝日、年末年始、原則週休二日制、年間休日数120日、+有給休暇10日		
研修教育	* 法人研修3日有り	各種手当	通勤手当・住宅手当・資格手当		

こんな仕事をしています



職種

児童発達支援の保育士
1年目

仕事の内容

0~6歳の発達に支援が必要なお子さまや、障がいのあるお子さまの療育支援
環境整備・絵本やお絵かき等の遊び、集団療育活動の支援・身辺のお世話等

1日の流れ

月	火	水	木	金	土	日
8:30	入社 製作物作成・ミーティング・事務作業				休日	休日
9:00	児童来所・保育業務					
11:30	食事介助・支援					
12:30	午睡・保育準備・順次休憩・ミーティング					
15:00	午睡終了・おやつ介助					
15:30	午後の利用児童来所・保育業務					
17:00	清掃・ミーティング					
17:30	退社					

【法人PR】

2023年4月に社会福祉法人なないろ会「児童発達支援なないろ」が開設しました。
 児童発達支援施設とは発達に遅れが見られる未就学のお子さまを対象とした通所支援施設の1つです。
 児童発達支援では日常生活動作の獲得や、コミュニケーション、集団生活への適応訓練などの支援を受けることができます。
 児童発達支援に通うことで困りごとを軽減することができ、必要なスキルを早期に獲得することで、集団生活における困難さが起こりにくくなると言われています。

児童発達支援なないろでは下記のような活動を行っています。

【理学療法】



【作業療法】



【臨床心理】



私たちにある「五感」の視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚ですが、人が成長していく上で、もう2つ感覚があります。「固有覚」と「前庭覚」という感覚です。初めて聞く方が多いと思いますが、「固有覚」は筋肉や関節の動きを詳細に察知し、体の理解、覚醒に繋がる感覚であり、「前庭覚」は、耳の奥にある器官で、加速や回転、傾きを感じ、重力下で安心して動作を行うことができます。感覚が感じにくい低反応のお子さまや、足りない刺激を補う必要があるお子さまに対し、普段の生活動作では感じにくい運動を通して、感覚刺激を積極的に促すためにトランポリンを取り入れています。

【理学療法士】

手先の器用さを出す訓練です。つまむ動作をピンチ力と言います。ピンチ力を向上させるために洗濯ばさみを使用して、カゴの周りから取り外す動作を遊びの中に取り入れています。カゴの縁の向きに合わせて手首を返すので、手先と手首の連動の練習にもなるんです！この動作は、スプーンやフォーク、鉛筆などを使用する動きの基礎になります。「遊びの中から日常生活の動作を練習する」それが作業療法になります。

【作業療法士】

自分の気持ちを落ち着いて相手に伝えたり、相手の気持ちを理解するには、自分の気持ちに気がつく力・言葉で表現する力・イメージする力等、いろいろな力が必要になります。それらを育む支援の1つとして、絵カードなどで「今どんな気持ち？」に目を向けることに取り組んでいます。やりたいことを伝える・相手に合わせる・協力するなど、遊びの中で楽しみながら、ソーシャルスキルトレーニングをおこないます。また、家庭でどのように対処したらいいのか等、子育ての悩みの対処法を個別に考えていく、ペアレントトレーニングも行っています。

【臨床心理士】

看護師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士がおり、「児童にとってより良い支援をするには」を常に考えて療育支援をしています。保育士も専門職の先生に指導方法等教わりながら支援をすることで、スキルアップに繋がります。医療的ケアが必要なお子さんもお預かりされており、肢体不自由児から発達障害のお子さんまで、様々な支援を必要とされる子の支援ができます。また、児童発達支援なないろは「いちご南保育園」と併設しており、職員間での情報共有や情報交換、支援の統一等、様々な観点から相互に学びの多い連携がとれるという利点があります。



医療的ケアが必要とされるお子さんが寒天で感触遊び、園庭で滑り台、療育室内で三輪車を楽しんでいます。